



立春を迎え、春の兆しを感じるものの、まだ気温の低い日が続いています。先日の雪の日には、道路の状況等を考え、活動を早めに切り上げさせていただいたり、午前中の療育を閉所にしたりと、保護者の方々のご理解とご協力のおかげで、大きな混乱等もなく無事に乗り越えることができました。これも、保護者緊急LINEに全ご家庭がご登録してくださっているおかげだと心より感謝申し上げます。

さて、この寒さに大人は背中が丸まってしましますが、子どもたちは元気いっぱい！寒いですが、しっかり身体を動かせるよう運動活動の充実や個別活動での個に応じた活動の充実を図っていこうと思います。

保護者評価の結果から

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 名 称 | 「育ち」の取り組みに対する保護者からの評価 |
| 2 | 性 質 | 鹿児島市で、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等を行っている事業所は、どの事業所も同じ質問内容で保護者様により事業所の取り組み状況等について評価の協力を依頼する |
| 3 | 目 的 | 事業所の療育に関する取り組み等を保護者様により客観的に評価していただき、療育の質の向上に努める |
| 4 | 実施機関 | 令和6年12月16日～令和7年1月14日 |
| 5 | 補 足 | 令和6年度の法改定により、チェック項目の質問内容が変更になったり、新たに追加された項目、保育所等訪問支援に関する評価の新設等の変更があった |

毎年、保護者様のご協力をいただきながら、「育ち」の保護者評価をさせていただいております。大変お忙しい中、誠にありがとうございました。

さて、「育ち」では、年に1回行われるこの保護者評価を基にさまざまな工夫や改善に努めておりますが、今回の評価を受けて、**まだ、工夫できることがあるのではないかとPDCAサイクルにおける継続的な改善に日々努力していきたいと改めて思うことでした。**

そこで、今回の「育ちだより」では、保護者評価のなかで、「どちらでもない」「いいえ」「わからない」という評価が特に多かった項目(全体の1/3以上)について、現状と今後の対応についてご説明させていただきますと思います。その他の少数意見につきましては、詳細をホームページの方に2月26日15時以降にアップいたしますので、ご覧いただけたら幸いです。

なお、ご意見・ご質問等につきましては、各事業所の児童発達支援管理責任者が窓口となり、お伺い致しますので、お気軽にご相談下さい。

●チェック項目11

保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。

【令和6年度の取り組み】

① 戸外活動時に同じ空間にいる地域のお子さまとの交流を図る

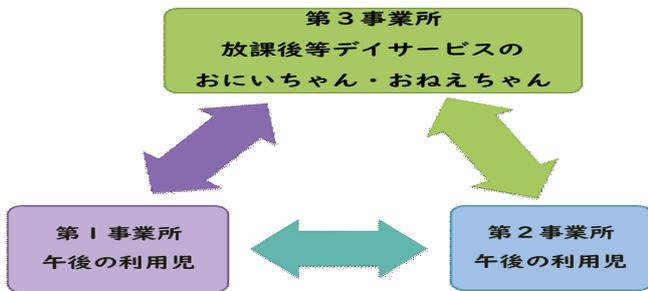
② 法人内事業所間交流の開催

【解説】

毎年、このチェック項目は、「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」というご意見を多くの保護者さまからいただいております。

まず、これまでも取り組んできましたこととして、それぞれの事業所が行う戸外活動のなかで、地域のお子さま等と同じ時間を共有する場面に遭遇した際には、その場で、いっしょに子ども同士の交流を図らせていただいております。

また、昨年度までの保護者さまのご意見を受けて、今年度は「**事業所間交流**」を計画・実施してみました。午後の児童発達支援を利用されている子ども同士の交流(第1事業所と第2事業所との交流)や、放課後等デイサービスのおにいちゃん・おねえちゃんとの交流(第1事業所と第3事業所、第2事業所と第3事業所との交流)も行ってみました。この交流で、子ども達の秘めている力をとても感じるこ



でした。

次に、保護者さまのご意見のなかには、「保育園や幼稚園等との交流がたまにはあっても良いのでは?」というご意見もございました。このご意見を受けて、今後、保護者さまのご意見をお伺い(アンケート調査)して、保育園等との交流を求める声が多い場合には、感染症の視点も視野に入れながら、保護者様のニーズなども考慮した上で検討させていただきたいと思っております。

●チェック項目18

父母の会の活動の支援や、保護者会の開催等により、保護者同士の交流が設けられるなど、家族への支援がされているか。またきょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。

【これまでの取り組み】

- ①令和4年度 特別支援教育コーディネーターによる保護者向け講話(コロナ禍)
- ②令和5年度 特別支援教育コーディネーターによる保護者向け講話
- ③令和6年度 特別支援教育コーディネーターによる保護者向け講話+座談会(11月16日)
- ④令和6年度 就学相談担当による保護者説明会+座談会(3月18日) 対象:R7年長の保護者

【解説】

毎年、このチェック項目は、「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」というご意見を多くの保護者さまからいただいております。

これを受けて、令和4年度から保護者向け講話を開催し、お子さまときょうだいさまも同時にお預かりできるよう託児所を開設しております。令和4年度はコロナ禍での開催でしたので、参加される保護者さま同士もソーシャルディスタンスを守っていただきながらの開催でした。令和5年度は、コロナが第5類に引き下げられ、多くの保護者さまにご参加いただきました。ただ、保護者さま同士の交流・横の繋がりといいところまではもっていきませんでした。

そこで今年度は、保護者向け講話に加え、講師をコーディネーターとする座談会を開催しました。交流会にご参加いただいた保護者様のなかには、先輩保護者さまからの共感的お言葉やアドバイス等をいただけたことで、肩の力が抜けたとか、自分だけじゃないんだと思えたことなど、好評をいただきました。

また、この交流会を開催してみて、保護者さま同士の交流の意味や必要性を感じましたので、今年度はさらに就学に向けた専門家からの保護者説明会を開催し、座談会もセッティングしてみました。対象年齢別でテーマを絞り込んだ保護者説明会および座談会にすることで、類似のお悩みや不安、分からないことへの解決の糸口を見出せる機会になればと思い、計画いたします。

各事業所から

第1事業所

- ①今月の行事
2月20日 避難訓練(火災)
- ②第1事業所では・・・
1月は、幼稚園・保育園で発表会の練習がある園が多かったですが、その中でも子どもたちは元気に活動を頑張っていました。
午前の利用児は、風邪に負けないように全身を使った運動を多く取り入れて体力作りを行いました。午後の利用児は、年長さんが多いので、机上・運動活動共に色々な平仮名の活動を行い進学に向けて支援を行いました。
2月初旬に今年初めての降雪がみられ、子どもたちの手のひらに雪がのり嬉しい表情で支援員にみせてくれました。

第3事業所

- ①今月の行事 2月10日
避難訓練(火災)
- ②第3事業所では・・・
2月に入り、雪が舞い散る日もありまし

第2事業所

- 2月21日 避難訓練(火災)
- ②第2事業所では・・・
2月に入り、児童発達支援に通う年長さんは卒園まで残り1か月と少しになりました。午前中の子ども達は、お集りや順番を待つ際の離席が少なくなり、「何が始まるんだろう」と期待して待つ姿が、4月の頃よりもだいぶ増えてきています。午後のお子さんもお友達と一緒に遊んだり、自分の気持ちを支援員やお友達に伝えながらやり取りをする姿が増えてきています。4月の頃の姿と比べるととても成長を感じ、日々感動している私たちです。進級や進学に向けて、今月も子ども達と一緒に楽しさや達成感を感じながら活動していきたいと思っております♪
たが、寒さよりも雪に大興奮し、嬉しそうに来所してくる子ども達の姿がありました。開所できた積雪の日は、活動として雪遊びを取り入れ、雪だるまを作ったりと雪の感触を楽しみながら貴重な体験をすることもできました。まだまだ厳しい寒さの日もありますが、子ども達の元気にパワーを貰い、支援員一同、次の学年に向けて引き続き丁寧に支援して参ります。